

# せいのかつ はっぴょうかい



11月30日(土)第13回となった発表会。毎日保育園で過ごしている姿を盛り込んだ劇は可愛らしく、ちょっぴり可笑しくもあり、保育園で過ごしている姿が見えてくる発表でした。年長児の楽器では、初めて琴・大正琴にも挑戦し、沢山拍手をいただきました。翌週は絵本「もりの100かいだてのいえ」を共通テーマとした作品展も開催し、個性豊かな作品が楽しい空間の中子どもたち一人ひとりが輝いていました。



## もちつき



12月5日(木)、札幌報恩学園の職員さんと保育園の事務員さんにもちをついてもらい、唯一の男性保育士もつき方を習い挑戦しました。子どもたちの「がーんばーれ!」「よいしょ~!」の掛け声と共に盛り上がった会となりました。子どもたちは、保育士による劇やお米ともち米の実物を見て「餅つき」について学んだ後、小さな杵で餅をついたり小麦粉粘土で餅に似た感触を味わいながらお供えを作り遊びました。子どもたちに日本の伝統行事を伝える事の大切さを感じました。

